

市民と地域で育むLRTを目指して

～これまでの路面電車に関する取り組み～



豊橋市副市長 木村邦久

日本の中心
↓
東京、大阪から1時間30分





手筒花火

450年以上続く豊橋発祥の「手筒花火」

90年間、市民に親しまれている「路面電車」



路面電車

いちおしコンテニツ

農業王国豊橋の豊かな農産物。
新名物「豊橋カレーうどん」



のんほいパーク

動物園、植物園、遊園地、自然史博物館が一体化。
広さは約40ヘクタール（東京ドーム8.5個分）



食文化

路面電車の位置付け（第5次豊橋市総合計画）



「基本理念」

ともに生き、ともにつくる

「目指すまちの姿」

輝き支えあう水と緑のまち・豊橋

「都市空間形成の考え方」

集約型都市構造を目指して、
都市拠点、地域拠点、産業拠点の形成を図る

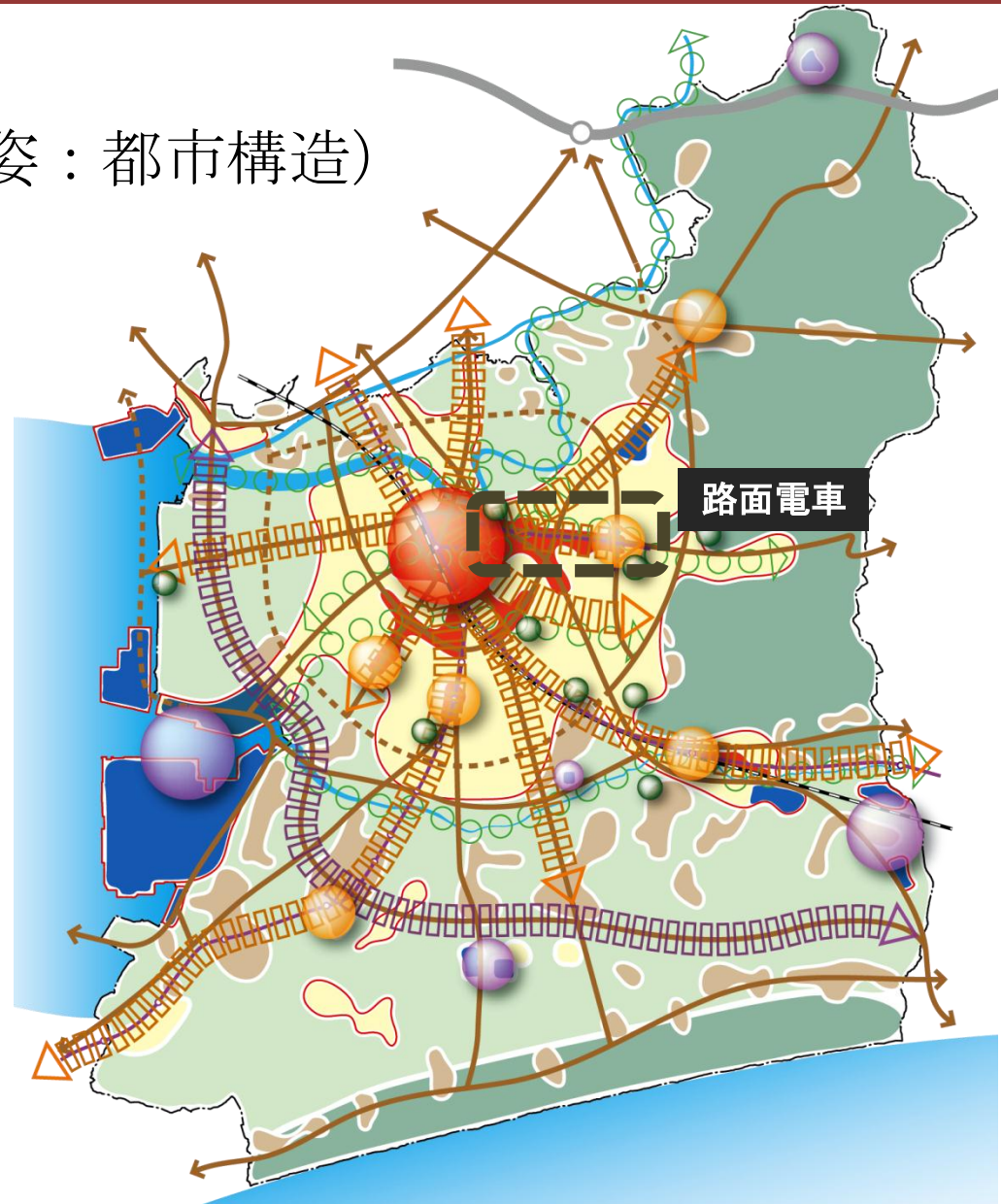
都市拠点と地域拠点等を結ぶ公共交通を
市民・事業者・行政が連携し
つくり、守り、育てることで

「公共交通ネットワーク」の形成を進める

路面電車の位置付け

(目標年次における都市の姿：都市構造)

**公共交通を軸に拠点を中心
とした集約型の都市構造**



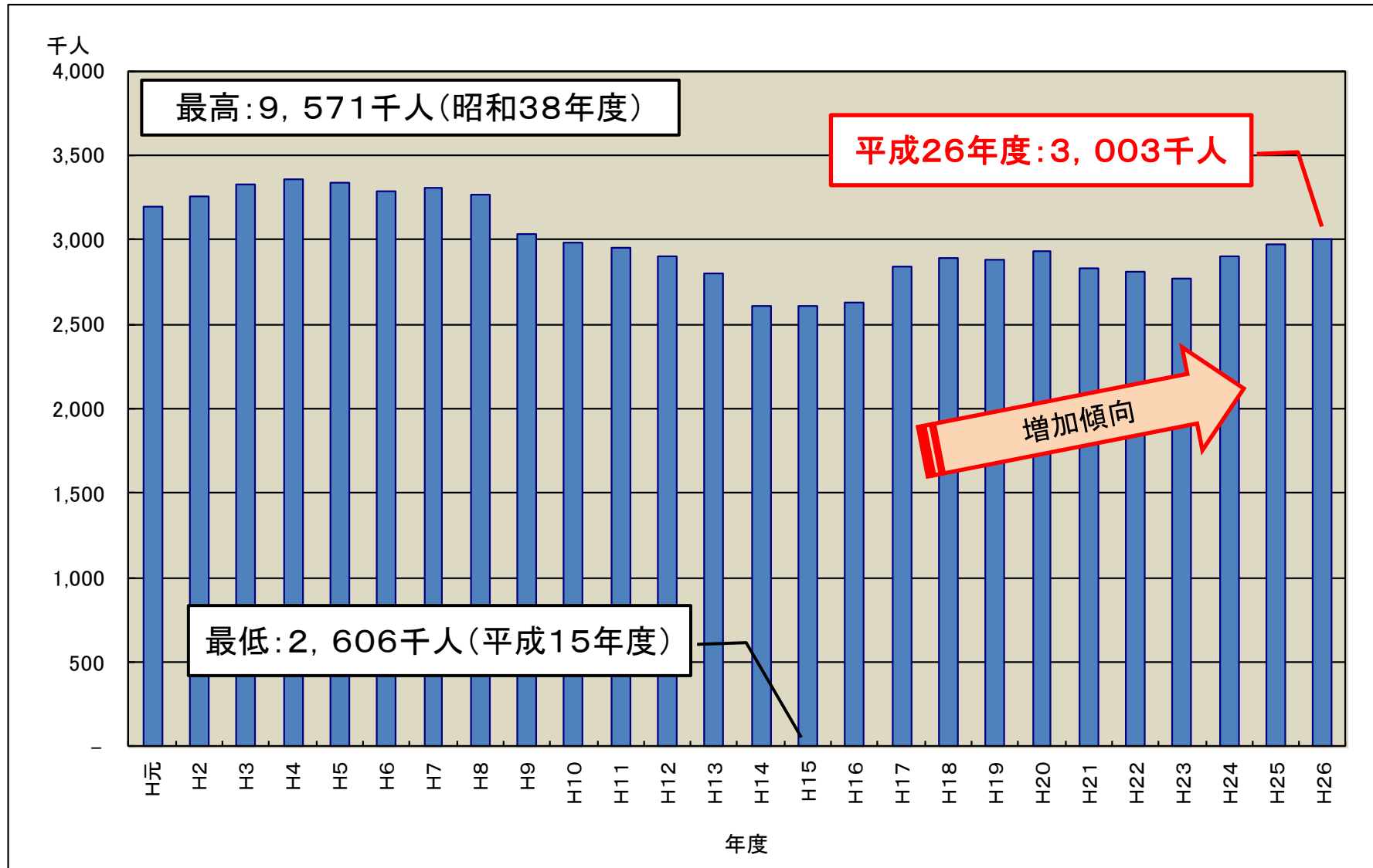
凡 例				
拠点	軸	地 域		
● (赤)	都市拠点	公共交通幹線軸	住居系地域	● (赤)
● (黄)	地域拠点	水と緑の環境軸	商業系地域	● (黄)
● (緑)	水と緑の拠点	産業促進幹線軸	工業系地域	● (緑)
● (紫)	産業拠点	その他	集落地域	● (紫)
		鉄道・駅	農業地域	
		新幹線	自然地域	
		幹線道路	市街化区域	

豊橋の路面電車の概要（豊橋鉄道(株)東田本線：市電）



- ◆開業:大正14年 ◆路線延長:5.4km<駅前～井原～赤岩口:4.8km、井原～運動公園前0.6km>
- ◆車両:17両 ◆停留場(電停):14箇所 ◆運行時間(駅前発):始発5時52分・終電23時45分

豊橋の路面電車の概要（輸送人員の推移）



これまでの路面電車に関する取組み

(豊橋駅総合開発事業：駅前広場への駅前停留場の移設：H9)

事業着手前



これまでの路面電車に関する取組み

(豊橋駅総合開発事業：駅前広場への駅前停留場の移設：H9)

事業完了後



駅前停留場

これまでの路面電車に関する取組み (豊橋路面電車活性化事業計画H18～H22)

[目標]

路面電車年間輸送人員

262万人(H16) ⇒ 300万人(H22)

[事業概要]

①安全島の無い停留場(競輪場前停留場)の改良【平成18年度】

②パーク&ライド駐車場の整備(赤岩口停留場)【平成18年度】

③停留場(札木・市役所前・豊橋公園前・運動公園前)のバリアフリー化【平成19年度】

④低床車両(LRV)の導入【平成20年度】

⑤ICカードシステムの導入【平成22年度】



③市役所前電停



⑤ ICカードシステムの導入

これまでの路面電車に関する取組み (全面低床電車・ほっとラム 平成20年度)



これまでの路面電車に関する取組み (みんなで買った「ほつトラム」)

ほつトラム購入価格 245,000千円 (税抜き)

補助金 177,295千円

国 61,250千円

・ LRTシステム整備費補助金 61,250千円 (1/4)

市 116,045千円

・ LRTシステム整備費補助金市協調補助分 61,250千円 (1/4)

・ 愛知県低床式路面電車整備事業費補助金 19,600千円 (8/100)

・ 寄付金 (地域公共交通活性化基金) 35,195千円

(商工会議所、企業、団体、市民などからの寄付金による支援)

事業者負担 67,705千円

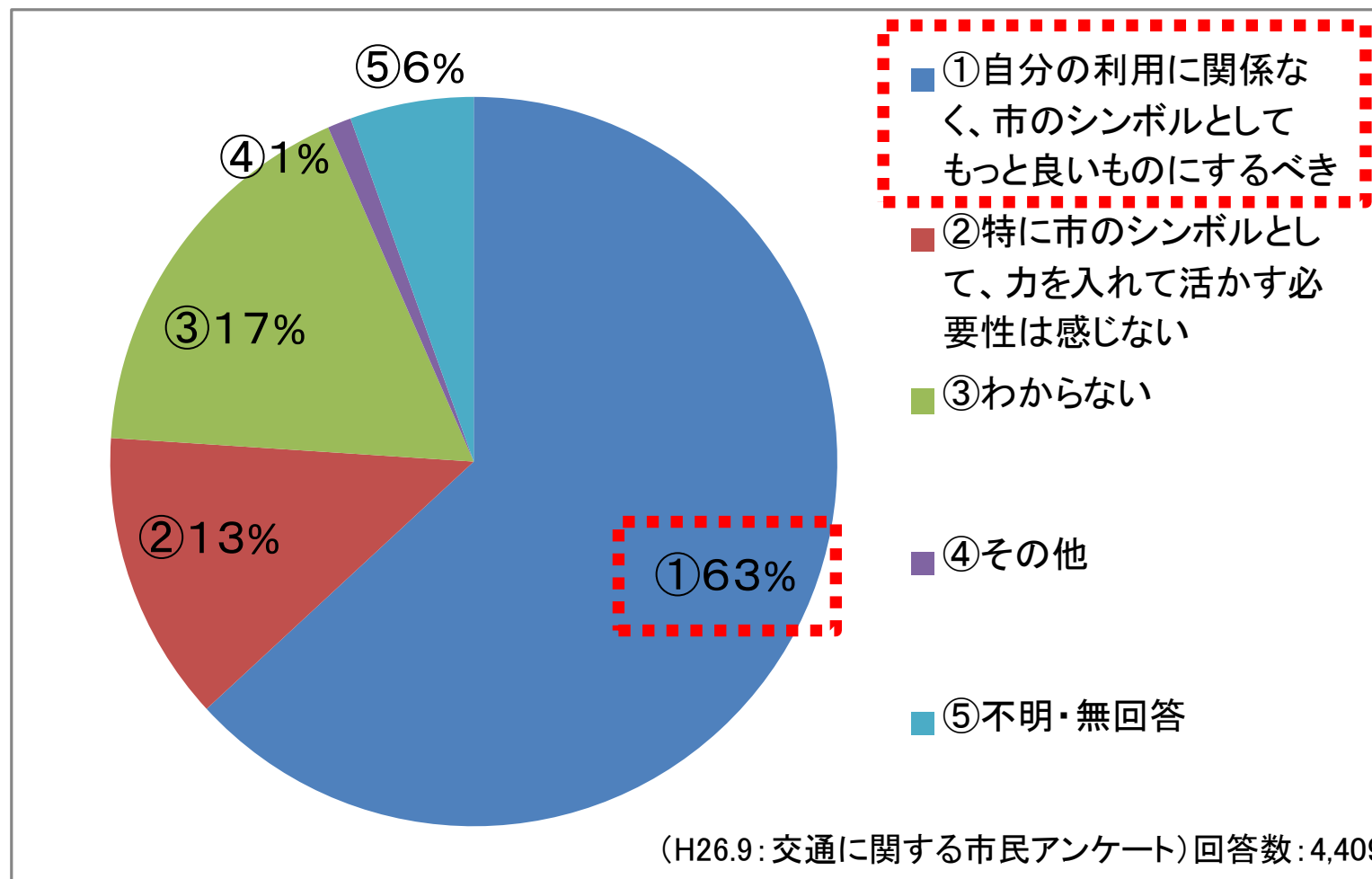
市民と地域で育むLRTを目指して

～今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望～



今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【市民アンケート:市のシンボルとして活かすことについて】

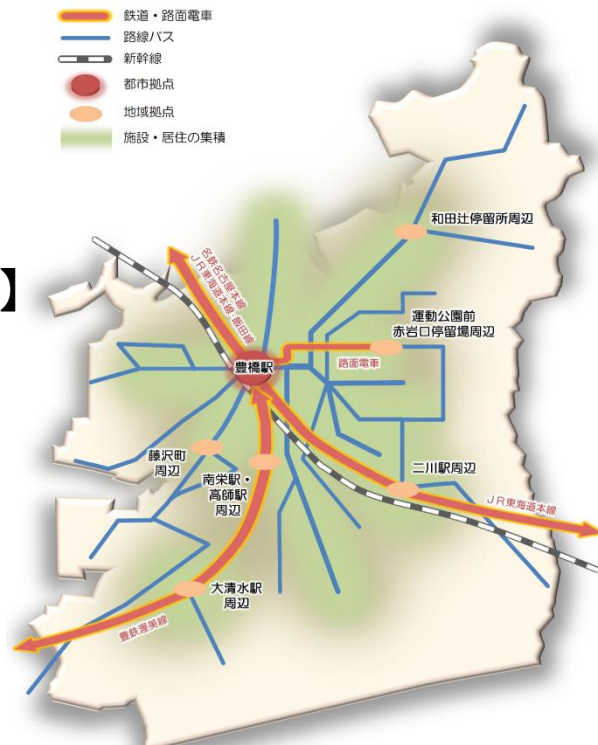


今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

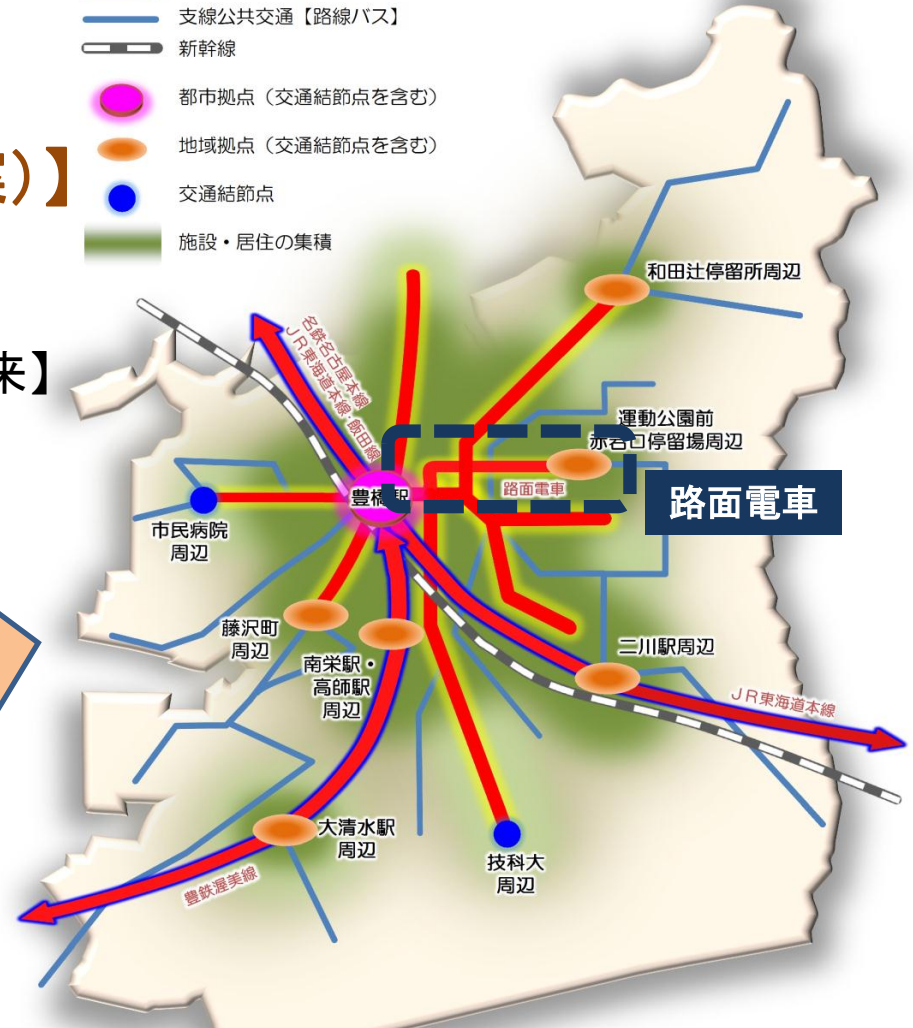
【公共交通ネットワークの形成(案)】

- 公共交通幹線軸【路線バス・路面電車】
- 公共交通幹線軸【鉄道】
- 支線公共交通【路線バス】
- 新幹線
- 都市拠点（交通結節点を含む）
- 地域拠点（交通結節点を含む）
- 交通結節点
- 施設・居住の集積

【現在】



【将来】



市民と地域で路面電車をLRTへと育てる

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【電停のバリアフリー化】



東田坂上電停

前畑電停



今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【サイクル&ライドの推進】

井原駐輪場(井原電停付近)



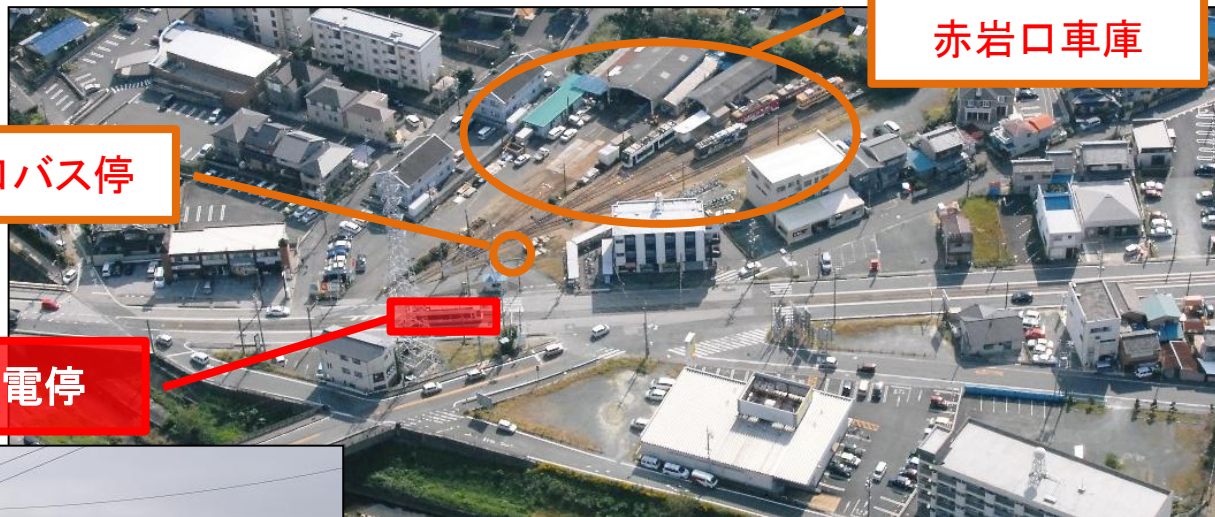
今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【交通結節点の整備】

赤岩口バス停

赤岩口電停

赤岩口車庫



スペイン ビルバオ

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望 【交通結節点の整備】



豊橋市都市計画マスタープランより

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【適切な道路空間の確保】



東田坂上電停～東田電停

東田電停



今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【軌道緑化】



駅前大通軌道緑化完成イメージ



軌道緑化実証実験：平成24年度～

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【まちなかとの連携：市電おかえりキップ(歩行者天国の開催)】



今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【穂の国・豊橋ハーフマラソン】



今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望 とよはし市電を愛する会

- **平成2年**に、市電を顔としたまちづくりの意識を高め、もっと路面電車をもりたてていこうと、市民や団体など約150人が集まって、「**とよはし市電を愛する会**」を結成

設立 1990年(平成2年)11月22日

会員 現在約220名

(会社社長・会社員・公務員・商店主・主婦など)

会の目的 「路面電車を活かしたまちづくり」

- ・公共の足としての利用促進
- ・中心市街地の活性化
- ・観光資源としての活用
- ・次世代への啓蒙

会の活動 ・4月10日(市電の日・豊橋市)

- ・6月10日(路電の日・全国)を中心にイベントの実施



市電のある風景カレンダー



地域公共交通活性化基金への寄付(H26. 1)

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望

【市電の日イベント、路面電車サミット】



市電の日イベント
(H27. 4. 19開催)



中部地区路面電車サミット(H27. 7. 11開催)
とよはし市電を愛する会中西氏提供

今後の路面電車を活かしたまちづくりの展望 とよはし市電を愛する会

- 平成26年度 国土交通省「手づくり郷土賞」^{ふるさと}を受賞



- 平成26年度 愛知県「エコモビリティライフ推進表彰」を受賞



ええじゃないか豊橋

ご清聴ありがとうございました